

2027
年版

“ここが知りたい”を徹底解説！

「医学部受験」がわかる本

LABbook
ラブック

[2026年10月号] Vol.6

CONTENTS

8

SPECIAL INTERVIEW

医学部進学後は受験期以上の学習が必要
強い目的意識を持って6年間を乗り切ろう

Dr.孝志郎のクリニック 院長 藤澤 孝志郎 氏

13

医学部入試はこう動く
大手予備校の最新分析

国公立大学編

駿台予備学校市谷校舎 校舎責任者 重藤 賢次 氏

私立大学編

富士学院 学院長 村田 慎一 氏

19

トップ塾・予備校直伝！
勝ちに行く科目別戦略

数学 代々木ゼミナール 教材研究センター 数学研究室 室長 梶原 武訓 氏

英語 SEG代表 英語多読科主任 古川 昭夫 氏

物理 河合塾 物理講師 合田 哲也 氏

化学 河合塾 化学講師 寺田 大介 氏

国語 医学部進学予備校 メビオ 国語科講師 舟木 徹男 氏 村田 智子 氏

共通テスト対策 医学部進学予備校 メビオ 校舎責任者 高橋 元 氏

小論文 医学部受験専門予備校 池袋理数セミナー 小論文主任 高峰 貴雄 氏

面接 医学部専門予備校 YMS校舎責任者 小柴 允利 氏

34

医師のワーキングガイド

39

医学部って何を学ぶの？

現役医学部生に聞く 6年間のキャンパスライフ

6年間のカリキュラム

国際医療福祉大学医学部医学科2年 菅原 萌 さん

昭和医科大学医学部医学科3年 大野 淳成 さん

関西医科大学医学部医学科5年 富永 有貴 さん



50

AD 医学部合格を目指すなら

医学部予備校特集

医学部受験 富士学院、河合塾グループ 医系専門予備校 メディカルラボ、
医学部専門予備校 YMS、医学部進学予備校 メビオ、
駿台グループ 駿台予備学校 市谷校舎・駿台 梅田校・駿台 医学部専門校



63 親子の受験合格体験記

松尾 喜一 さんご家族（東北大学医学部医学科）

山本 拓海 さんご家族（九州大学医学部医学科）



68 チェコ医学部を卒業し 海外で医師として働く 世界へ広がる医学部進学

73 医学部を目指すなら 注目の中学・高校特集 医学部受験で圧倒的な実績 中高一貫校の強さの理由とは？ 医学部に強い高校ランキング一覧付き



サビックス教育事業本部 本部長 広野 雅明 氏

[AD] 桜丘中学・高等学校(三重県)、秀明中学校・高等学校、獨協中学・高等学校、
北嶺中・高等学校、星野高等学校、春日部共栄中学高等学校、
北里大学附属順天中学校・高等学校、淑徳与野中学・高等学校、
東邦大学付属東邦中学校・高等学校

96 最新医療トピックス

99 「地域枠」の現状と正しい活用法 WILLナビ医学部

107 医学部合格までのロードマップ

駿台梅田校校舎責任者 服部 峻 氏

109 科目別入試対策 合否を分けたこの1題

数学編 東京出版 編集部 英語編 河合塾



この度は、LABbook第6号『2027年版「医学部受験」がわかる本』を手にとってくださり、誠にありがとうございます。

『「医学部受験」がわかる本』は、読者の皆様よりご好評をいただき、おかげさまで3号目を迎えることができました。毎年少しずつ改良を重ねた結果、今号では、医学部受験をお考えの学生・保護者の皆様にとって、より有益な情報をご提供することができたと考えております。

恒例となった、現代医療の最前線で活躍されているドクターを取材する「Special Interview」では、医学教育の第一人者として知られるDr.孝志郎こと藤澤孝志郎先生に大変貴重なお話を伺いました。その他、医学部入試へのアプローチでお悩みの方にぜひお読みいただきたい「大手予備校の最新分析」、最難関中学・高校受験の名門塾SAPIX（サビックス）の教育事業本部長である広野雅明さんに聞く

「中高一貫校の強さの理由とは？」など、受験本番を迎える前に知っておきたい、読んでおきたいと思えるような、役立つ記事を多数掲載しております。

また、表紙の見出し文や目次などからも見て取れるように、本誌は医学部や現代医療の話題はもとより、特に入試科目そのものに関する情報に力を注いでおります。医学部受験に関する情報誌は数多く出版されておりますが、その中において、科目別の入試対策や情報が充実していることは、本誌ならではの特徴といえます。

医学部を目指す学生やその保護者の皆様が、本誌を通じて多くの情報を得て、満を持して受験本番に臨まれるよう、心より願っております。医療を志す皆様の、そのプロセスの一端を担うことができれば本望です。

東京出版 代表取締役社長 黒木憲太郎

A portrait of Dr. Takashiro Fujisawa, a middle-aged man with short dark hair, smiling and gesturing with his right hand. He is wearing a white lab coat over a dark blue patterned shirt. The background is a blurred indoor setting.

Profile

ふじさわ こうしろう／宮崎医科大学卒業。2004年に医師国家試験合格。総合内科専門医（日本内科学会認定）。現在は東京都豊島区にある「Dr. 孝志郎のクリニック」で院長を務める。「国試サマライズ」「病態生理講座」「症候学講座」など人気のオンライン講座を受け持つカリスマ講師でもあり、医学教育界のバイオニアとしても知られている。

Special
Interview

Dr. 孝志郎のクリニック 院長

藤澤 孝志郎 氏

「Dr. 孝志郎」のニックネームで知られる藤澤孝志郎先生は、開業医として地域医療に携わる一方で、医学生向けの医師国家試験対策や、現役医師向けの専門医試験対策を動画コンテンツなどで配信している、医学教育界のカリスマ講師でもあります。そんな藤澤先生が医学部と医学生の「今」を徹底解説し、医学部受験で大切なこと、入学後の6年間で学び通すための心構えについて、受験生の皆さんにアドバイスします。

医学部進学後は 受験期以上の学習が必要 強い目的意識を持って 6年間を乗り切ろう

学ぶ面白さを伝えたくて 医学教育のプロとして活動中

医師国家試験対策予備校で「国試サマライズ」といった動画講座などを担当し、医学生たちから絶大な支持を集めている「Dr.孝志郎」こと藤澤孝志郎先生。総合内科専門医の資格を持つ臨床医でありながら、若手医師の育成に携わる指導医の資格も保有し、全国70以上の医学部で外部講師を務めた経験を持つ医学教育のプロフェッショナルでもあります。

藤澤先生が医学教育者としての活動を始めたのは、医師免許を取得して3年後の30歳のとき。

きっかけは臨床医としての経験を積みながら、自分なりの「気づき」を得たことでした。

「患者さんはなぜ、どのように病気を発症するのか。そうした病態生理に関して、私なりに一種の法則性を見いだしたと思ったとき、医学って面白い!と、あらためて気づきました。医学はよく『丸暗記の学問』と捉えられていて、確かに膨大な知識を覚えなければなりませんが、実はクリエイティブな部分がたくさんあります。そんな医学を学ぶ楽しさをより多くの人に伝えたくて、医学教育の動画を撮り始めました。

医学教育に携わるようになったもう一つの理由は、私自身が医学をより深く学びたかったから。『医学生を教育する立場』に自分を追い込めば、イヤでも勉強し続けなければなりません。そうやって医学という学問をより深く、より専門的に探求したいと思いました」

今日では、藤澤先生の講義を聞いて医師になった医学生が10万人を超えています。

ちなみに、藤澤先生は開業医として自身のクリニックも開いています。「私のクリニックの特徴は、患者さんの4分の1が医療関係者だということ。医師も人間ですから、病気になることもあります。そんなとき、自分の勤務する病院を受診するのは何となく気が引けるものです。診察する医師には守秘義務がありますが、それでも電子カルテを見られれば、自分がどんな病気に罹患しているか、同僚たちに分かってしまうからです。そうした理由で受診控えする医師を受け入れるために、11年前に『Dr.孝志郎のクリニック』を開業しました。医学生の患者も多く、診察の際に学習面でアドバイスすることもあります」

医学部入学後に待ち受ける 「留年」というリスク

そんな藤澤先生から見て、今日の医学部教育の実情はどのようになっているのでしょうか。

「私が医師免許を取得したのは2004年ですが、

共通テストの負担感で志願者数は減少傾向 重要なのは最後まで粘り強く戦う姿勢



国公立大学の入試は、大学入学共通テストの結果に大きく左右されます。2026年度に医学部志願者数が減少した背景には、共通テストの平均点低下もありました。共通テストで思うような得点が取れず、国公立大学への出願を諦めてしまう受験生がいる一方、目標点に届かなくても強気で挑戦し、合格を勝ち取った受験生も少なくありません。表面的な数字にとらわれず、最後まで粘り強く戦う。その挑戦を支えるのは、盤石な学力です。

駿台予備学校市谷校舎 校舎責任者 重藤 賢次 氏

共通テストの平均点が低下 国公立大の出願を諦める受験者層も

国公立大学入試の一般選抜には前期と後期があり、募集定員の多い前期日程が中心となります。2026年度の前期日程志願者数は1万4520人で、前年度より約800人減少し、志願倍率も4.3倍から4.1倍に低下しました。志願者数の減少は2年連続です。2026年度の志願者減の要因の一つとして、大学入学共通テストの平均点が大幅に低下したことが挙げられます。国公立大学の一般選抜では、まず共通テストを受験し、その結果を踏まえて個別（2次）試験の出願校を決めます。今回は特に、数学や物理など理系科目で平均点の低下が目立ちました。理系志望者にとって厳しい結果となったことが、個別試験への出願を控える動きにつながったものと考えられます。

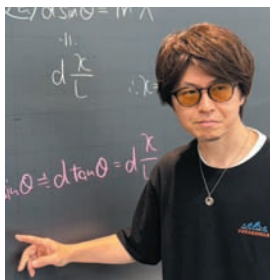
もともと、共通テストでしか使わない国語や地理・歴史・公民などの対策は負担が大きく、受験生は弱気になりがちです。だからこそ、逆に強気で出願した受験生が合格を勝ち取った例が目立ちました。駿台でも、年内の模試でE判定（合格可能性20%未満）で、本番の共通テストの自己採点でもE判定だった受験生がいました。

それでも諦めずに出願し、第一志望校への合格を果たしました。こうした例は決して珍しくなく、後期日程でも見られます。

大学入試には、一般選抜のほかに学校推薦型選抜・総合型選抜があります。医学部でも推薦型の募集枠は拡大傾向にあり、筑波大学のように、推薦枠と一般枠の募集定員がほぼ同数という大学もあります。また、推薦型や総合型では、卒業後の一定期間、地域で勤務することを条件とした「地域枠」も拡大しています。出願要件は大学によって異なりますが、自分に条件が合い、早い段階から計画的に準備できるのであれば、積極的に利用したい制度です。

共通テストで80%得点できれば 個別試験で挽回できる可能性は高まる

いずれにせよ、学力を身に付けなければ何も始まりません。一般選抜では、まず共通テストで高得点を取る必要があります。医学部の場合、合格に必要な得点率の目安は85%とされています。ただし、大学によってかなり幅があります。大学が公表した2026年度のデータを見ると、愛媛大学では合格者の平均得点率が約79%でした。熊本大学のように、合格者の最低得点率が70%を下回る大学もありました。筑波大学でも、80%で合格した例があります。



数式と物理現象を徹底的に結び付けよ 自らの手で図を描き、状況を視覚化 「何が起きているか」現象理解を深める

河合塾 物理講師 合田 哲也氏

物理で計算はあくまで手段 数式、計算結果から現象を読み解く

医学部入試の物理対策として、問題・解法のパターンを暗記する、公式に当てはめて解く、といった学習法では、必ずつまづきます。計算して答えがあっただけでは、物理現象を理解したことにはなりません。物理は自然を理解するための学問です。「どんな現象が起きているのか」「式の意味や具体的なイメージ」が分かっていないと、理解が深まることはなく、入試でも通用しません。

実際、物理が苦手な人の多くは、数式や計算ばかりに気をとられて、現象と結び付いた理解ができていません。そこで私は、以下のように指導しています。

「問題文を読み、まず自分の手で図を描く→情報整理・状況理解→成り立つ法則を見抜き、立式→その計算結果から、さらに現象理解を深める」

このように「図を描いて視覚化→現象理解」という勉強法を徹底した生徒からは、「物理は計算ばかりの重苦しいイメージだったが、図を描くことでスッキリ理解でき、楽しくなり、そして、できるようになった!」と言われます。

高校の物理は「力学」「熱」「波動」「電磁気」「原子」という5つの分野に分かれています。分野を問わず、この「問題文を読み→図を描き→式を立て→計算→その結果からの現象解釈」というアプローチは非常に有効です。

分野別の学習ポイントと 医学部入試・物理の出題傾向

分野ごとの学習量の比重は、力学10、電磁気9、波動6、熱力学と原子3.5が目安です。

「力学」は他分野の基盤にもなりますが、イメージしやすいため、逆に感覚で誤認している生徒が多いです。法則・数式に基づいて、論理的に緻密に考える姿勢が大切です。「電磁気」は「電位」が要の物理量。電位を軸として考えていくと、ムダな暗記もせずに納得のいく理解ができます。「波動」は計算だけで進めると一番苦しむと思います。波一つひとつがどのように存在するか、視覚的理解に努めましょう。「熱」はエネルギーの移動(熱・仕事)をつかむことが大切。「原子」は医学部入試ではよく出題されますが、全体のストーリーやつながりを理解すれば、暗記は非常に少なくなります。

出題傾向は、上位校になると初見の題材で、思考力・応用力が問われます。慶應義塾大学医学部はその最たる所。変わった問題設定で難度も高く、理解と処理にスピードが必要です。順天堂大学は、標準・典型的な問題が中心ですが、量が多く、解答スピードが求められます。今の入試では、理解を深めて処理速度を上げることが大切です。

物理の場合、微積分など数学的な力も要するので、早めに始めることの優位性は低いです。まずは英数を。そのあと「好きこそものの上手なれ」で物理を一気に得意科目にしてほしいですね。

医師のワーキングガイド

厚生労働省の調査によると、わが国の医師の数は約35万人(※)。医師国家試験に合格後、臨床研修を終えて「一人前」の医師となるまでは誰もが同じようにステップアップしていきますが、その先の活躍の場は多様で、それぞれの「志」や「将来ビジョン」に基づいて選んだ道を歩んでいくことになります。

どんな場所で、どんな働き方がある？

臨床医

「臨床」とは、病床に臨んで診療するという意味。臨床医は、病気やケガをした人を診察したり、治療したりする医師のこと。開業医、勤務医、産業医などがあり、大学病院や市中の一般病院、診療所(クリニック)、民間企業などで働く。一般の人にとって、「お医者さん」といえば臨床医を指すことが多い。患者と接するため、医療に関する知識や技術だけでなく、コミュニケーション能力も必要。大学病院では、臨床医として働きながら研究を続けている人が多い。

研究医

大学や研究機関に所属して、病気の原因やメカニズムなど基礎医学の研究を行う医師のこと。2年間の初期臨床実習を終えた後、大学院の研究室で病理学や生理学など専門分野の研究を進めるケースが多い。研究医の多くは大学病院に勤務するが、民間の製薬会社や医療機器メーカーで働くことも。中には海外で活躍している研究医もいる。待遇面では臨床医のほうが恵まれているともいわれるが、難病の根絶や治療方法の確立など、基礎研究は多くの命を救う仕事であり、医療の発展において欠かせない存在である。

医師キャリアのモデルプラン

医学部に合格 …… 18歳

医の道を志し、受験勉強を乗り越えて医学部に合格し、大学で6年間学ぶ。4年後期の臨床実習あたりから、専門領域など自分の進むべき道を考え始める。在学中に、卒業後に初期臨床研修を受ける病院を決める。

医師国家試験に合格 …… 24歳

国家試験に合格して医師免許を取得。大学卒業後、病院の研修医として2年間の初期臨床研修を受ける。内科(24週)、救急科(12週、4週まで麻酔科可)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、地域医療(4週)の7科が必修となっている。

進むべき専門領域(診療科)を決定 … 26歳

初期臨床研修を終えれば、晴れて「医師」に。研修終了後、多くの人は自分の専門の診療科と勤務先を決めて就職。専攻医として(3~5年)さらに知識や経験を積み重ね、専門医の資格取得を目指す。

それぞれの分野で活躍 … 30歳~

勤務医、開業医、研究医などとして、さまざまな医療現場で活躍する。



※2024年12月31日現在の人数 データはすべて厚生労働省：2024年「医師・歯科医師・薬剤師統計」より作成

医学部受験で圧倒的な実績 中高一貫校の強さの理由とは？

少子化が進むなかでも、医学部入試は依然として他学部を圧倒する厳しい競争が続いています。そのなかで際立った合格実績を残し、毎年の医学部合格者数ランキングの上位を占めるのが、私立の中高一貫校です。なぜ中高一貫校はこれほど医学部受験に強いのでしょうか。また、医学部受験を見据えて、小・中学生のうちから準備しておくべきこととは何なのでしょう。中学受験で高い合格実績を誇るサピックス教育事業本部・本部長の広野雅明先生に伺いました。



変化する入試と最新トレンド情報 女子の活躍や推薦型選抜の広がり

少子化が進むなか、大学入試全体では競争が緩和されつつあります。一方、医学部受験は全く異なる様相を見せています。それを裏付けるデータが、最新の2026年度入試結果です。

文部科学省の集計および各大学の速報によると、2026年度の国公立大学医学部（前期日程）における全体の志願倍率は4.2倍を記録しました。前年度の4.3倍から微減したものの、依然として高水準です。これに対して、国公立大学「全学部」における前期日程全体の平均志願倍率は2.9倍。これらの比較からも、医学部受験がいかに「狭き門」であるかがわかります。

近年、最も顕著な変化として挙げられるのが、女子合格者の増加です。文部科学省が公表した2025年度の医学部入学者選抜に関する調査結果によると、女子入学者の割合は41%に達し、過去10年間で最高を記録。女子受験者数も3年連続で増加し、5万3917人に上っています。

この女子の動向について、サピックス教育事業本部本部長の広野雅明先生は、「女子受験生

を不利に扱う不正入試の発覚以降、完全に実力勝負になりました。その結果として、女子の医学部合格者が着実に増加しているのでしょう」と推察します。さらに、結婚や出産などのライフイベ

図表1

2026年度入試において国公立大学医学部に40名以上の合格者を出した高校

合格者数	学校名	中高一貫校	所在地
109	○ 東海	☆	愛知
73	○ 久留米大学附設	☆	福岡
70	○ 洛南	☆	京都
69	○ 開成	☆	東京
68	○ 西大和学園	☆	奈良
67	○ 愛光	☆	愛媛
61	○ ラ・サール	☆	鹿児島
55	熊本		熊本
53	○ 桜蔭	☆	東京
47	○ 海城	☆	東京
47	○ 滝	☆	愛知
47	○ 甲陽学院	☆	兵庫
46	○ 東大寺学園	☆	奈良
46	○ 灘	☆	兵庫
45	札幌南		北海道
44	○ 四天王寺	☆	大阪
43	旭丘		愛知
41	○ 青雲	☆	長崎
40	○ 豊島岡女子学園	☆	東京
40	○ 洛星	☆	京都

学校名の○印は私立、無印は公立 ☆印は中高一貫校

大学通信調べ

医学部合格までの

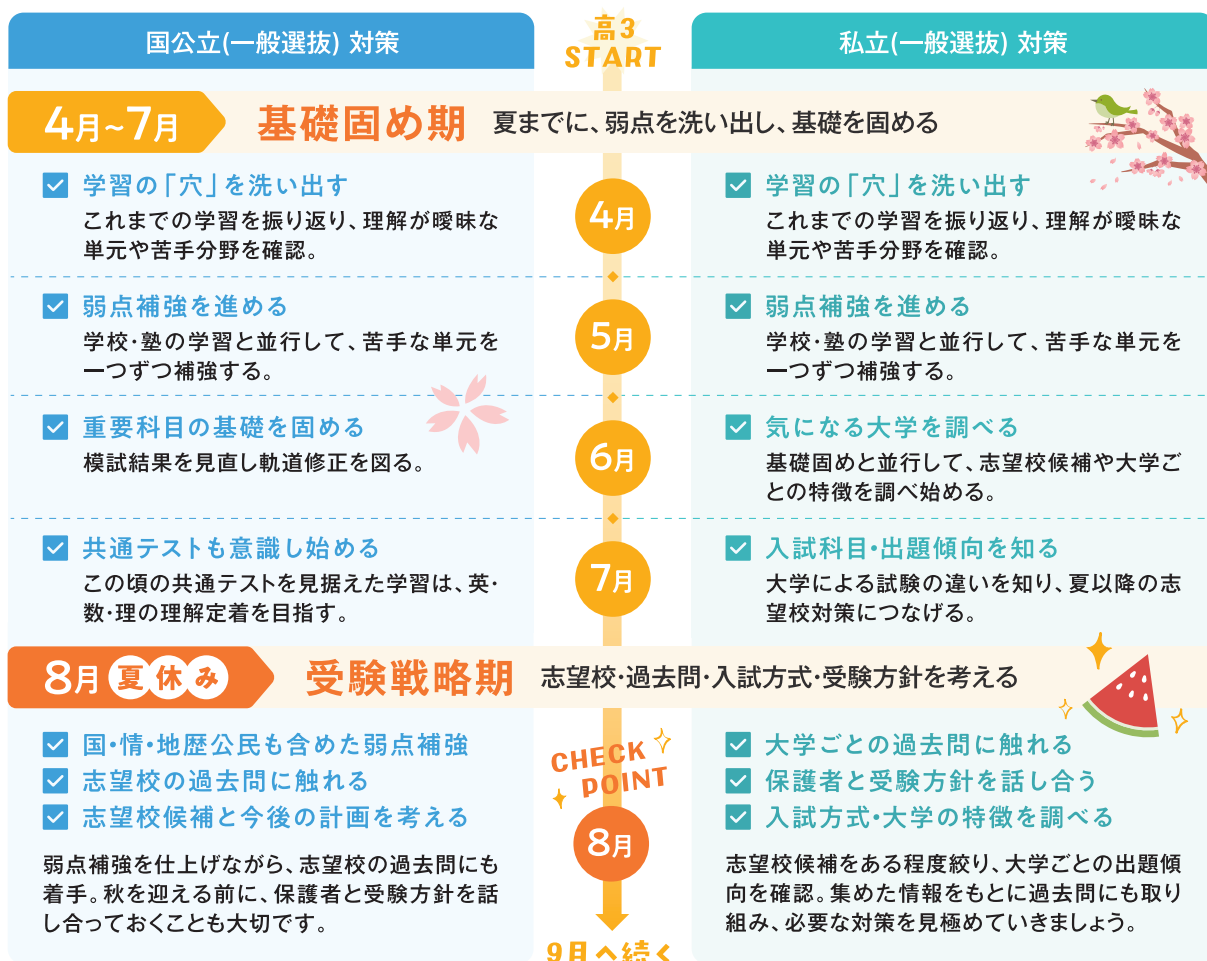
| 高3 | ロードマップ

医学部受験では、日々の学習だけでなく、志望校選びや情報収集、出願準備など、時期に応じてやるべきことが変わります。高3の春から入試本番まで、いつ、何を意識して動けばよいのか。国公立大学・私立大学それぞれの1年間の流れを見ていきましょう。

監修

駿台 梅田校 校舎責任者

服部 峻氏



高1・高2の皆さんへ! 高3になる前にやっておきたいこと

「行きたい大学」を早めにイメージしておこう

高3になってから志望校を探し始めるのではなく、高1・高2のうちから大学について知っておくことが大切です。総合型・学校推薦型選抜を

考える場合は、高校生活での活動や経験も意識しておきましょう。オープンキャンパスや相談会などに参加し、「ここで学びたい」と思える大学を見つけておくことが、その後の学習へのモチベーションにもつながります。

- ✓ 大学・医学部について調べる
- ✓ オープンキャンパスや相談会に参加する
- ✓ 英語・数学の基礎を固めておく
- ✓ 総合型・学校推薦型選抜を考えるなら、高校での活動や経験も意識する

東京慈恵会医科大学 (医)

2026年のセット ① B** A/確率
90分 ② B**○ III/積分(面積), 極限
③ C*** BA/数列, 整数
④ C***○ III/積分(体積)

2以上の自然数 n に対して, 関数 $f_n(x)$ を $f_n(x) = e^{-nx} + x - 1$ と定める. 曲線 $y = f_n(x)$ と x 軸で囲まれた部分の面積を S_n とするとき, 極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$ を求めよ. ただし, e は自然対数の底とする.

なぜこの1題か

近年, 本学は問題文が短くなっており, 今年に関してはもはや京大かと思えるほどで, かなり好印象. ①に確率, ②に微積分という流れは例年通りである. お楽しみ枠の③は昨年は整数と2次曲線の融合だったが, 今年は数列と整数の融合だった. ④は体積からの出題で, 全体として気を抜ける問題がなく, 問題文の軽さとは裏腹に, 重たいセットに感じただろう.

①は確率で例年通りだが, 昨年問題は包除の原理を適用すれば先がすぐに見えるのに対して, 今年の問題は操作が複雑で, 見た目よりも詰まった生徒が多いはず. 特殊な知識はいらないが, きちんと状況を整理して, 「玉が取り除かれるか, 取り除かれないか」に着目するとあっさり解決する. だいたい, 適切なものに着目すればうまくいくよね, というタイプの問題は出来ない人は手も足も出ない.

③は今年の中でもかなり上位に入る名作. 編集部Yさんも感心していた. 私も感心した. シンプルな漸化式で, かつ, 見たことのない設定. しかも無闇な難問ではなく, きちんと実験していけば数列の様子がつかめるといふ, 良問である. ただ, 整数と数列の融合問題は苦手意識を持っている人が多いのに加えて, 受験数学に染まった(染められた?) 大人が見て「こ

れはいい問題だ」と唸る問題は, たいいていの場合生徒の出来が悪いというのが通説で, どこまでの人ができたことやら...

④は(偶然だろうが) 設定が早稲田・理工③と丸被りで驚いた. ただ, こちらの方がその後の設問の難易度が高い. 体積は $y = (\text{一定})$ などの平面で切って捉えるのが定石だが, 今回はそれだと複雑な断面と場合分けによって遠回りになってしまう. 線分が常に $x + y = (\text{一定})$ に沿って動くことに着目して, その断面を考えると断面が台形になり場合分けも発生しない. 積分計算までやりきるのは至難の業.

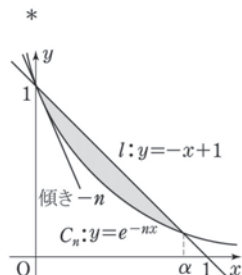
②は題意こそつかみやすいが, 面積 S_n を n の明示的な式で書くことができないのでひと工夫必要で, 類題の経験があるかどうかで差が大きく分かれただろう. また, 勘が鋭いと直感的に答えの推測をつけることもでき, 一つの問題をいろいろな角度から見ているかどうかによっても自信の持て具合が変わってくる.

【目標】 積分を実行し面積を出すのが目標だが, 共有点の座標が明示的に n の式では書けないため, 文字で置いて進めるしかない. 試行錯誤の上 25 分で完答できれば立派.

解答

$x=0$ でない方の共有点の x 座標 α は明示的に書けないので, 文字で置いて進めよう. 直感的には $\alpha \rightarrow 1$ となりそうなので, 適切に α を評価したうえで, α の満たす等式を利用してハサミウチの原理を使うのが目標.

解 $f_n(x) = e^{-nx} - (-x+1)$ であり, S_n は $C_n: y = e^{-nx}$, $l: y = -x+1$ で囲まれる部分の面積に等しい. C_n の $(0, 1)$ における接線の傾きが $-n$ であることに注意すると, C_n と l の概形は図のようで, C_n は下に凸であり, $(0, 1)$ が C_n と l の共有点の1つとなる.



⇨ 明示的に解けない方程式の解は, そのまま文字で置くしかない!

⇨ $f_n(x)$ の概形はすぐにはわからないが C_n と l の概形はすぐにわかる.

2027
年版

“ここが知りたい”を徹底解説！
「**医学部受験**」が
わかる本

【表紙・本文デザイン】

TOILO

【イラスト】

高原めぐみ

【撮影】

梅澤みゆき／白井裕介／中野和志

【取材・執筆】

神山真由美／鷺島鈴香／堀木三紀／中野恵子／簗谷則美／盛田栄一／山田衿子

【企画・取材・構成・執筆・編集】

cubix

【広告協力】

広真アド

2026年9月29日 発行・発売
通巻6号

発 行 東京出版教育ラボ

発 売 東京出版
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-7
電話 03-3407-3387

発行人 黒木憲太郎

印刷・製本 日経印刷

Printed in Japan

本書の無断複写・複製（コピー等）は著作権上の例外を除き、禁じられています。
購入者以外の第三者による電子データ化および電子書籍化は、私的利用を含め一切認められておりません。
本書に関するお問い合わせ、ご連絡は下記にて承ります。

<https://www.tokyo-s.jp>